



み や ぎ
- 65号 -

発行元 独立行政法人国立病院機構 宮城病院
発行責任者 広報委員長 安藤 肇史
〒989-2202

宮城県亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地
TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

宮城病院創立80周年を迎えて

令和元年の今年、国立病院機構宮城病院は創立80周年を迎えることができました。

当院が80年の長きにわたって医療活動を続けられたのも、代々の職員的情熱と努力、地域の皆様および関係各位のご協力とご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

宮城病院は日中戦争たけなわの1939年（昭和14年）2月28日に傷痍軍人宮城療養所としてこの地に創立されました。同年9月にはナチスドイツがポーランドへ侵攻して第2次大戦が勃発、そして1941年に日本は英米との戦争に突入し全世界へと戦火は広がっていきました。このような苦難の時代に創立された当院は、平和な時代になってからは国立の療養所として結核医療、重症心身障がい児（者）や病弱児医療などの政策医療を担い、疾病構造の変遷に対応して1980年以降は脳卒中の急性期治療とリハビリテーションのセンターとして、さらにパーキンソン病などの神経難病のセンターとして専門的な医療を行ってきました。2004年以降は国立病院機構の病院として引き続き脳神経疾患を中心とした専門的医療を推進するとともに、高齢化進行の著しい亘理郡と周辺地域の医療ニーズに応じて地域医療の提供に力をいれています。



10月18日、創立80周年を記念して当院と縁の深い紅白の梅の木を宮城病院の正面に植樹しました。次の100年に向けて宮城病院の発展と地域への貢献を見守り続けます。

宮城病院は次の節目である2039年の創立100周年に向け、モットーである「良い医療を安全に、心を込めて」を実践しながら高度医療にも対応し、地域から愛され頼りにされる病院を目指していきます。今後とも地域の皆様、関係者の皆様から変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（宮城病院長 永野 功）

基本理念

『良い医療を安全に、心を込めて』

行動理念

1. 私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
2. 私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
3. 私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々の疾病予防や健康の向上に貢献します。
4. 私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
5. 私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
6. 私たちは常に明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコットキャラクター
「みやべりー」

山元町クリーンキャンペーン



参加していただいた方々との集合写真

今年も第4回目を迎えた山元町・亶理町との共同事業に基づく「宮城病院クリーンキャンペーン」が10月6日（日）に小雨降る中、開催されました。当日は、山元町からの声かけにより地域住民の方々、町内企業の方々、町役場、病院職員合わせて約130名近くの皆様に参加いただき、年々参加者が多くなっている行事となっております。最初に齋藤山元町長より挨拶をいただき、続いて永野病

院長から「日ごろの感謝や今後も地域の病院として根ざしていく」など挨拶し、午前9時から約2時間の作業となりました。

当院の広い敷地は、なかなか清掃活動が追い付かず、年に1度このキャンペーンにより敷地内の環境清掃を行っていただいています。作業班を各班に分け、草刈りや木の剪定などを中心に高所作業車2台も参加いただき、電線に影響がありそうな高所の枝払いも行っていました。今回もたくさんの参加者のおかげでとても綺麗にさせていただきましたことを深く感謝申し上げます。

(管理課長 大坂 雄二)



高所の枝払い



参加された地域住民の方々



各班に分かれて作業



草刈り機による作業

元気やまもと健康まつり

7月7日（日）、山元町主催による第3回「元気やまもと健康まつり」に宮城病院健康増進コーナーとして参加いたしました。当日は昨年度に続き、山下駅近くの「つばめの杜ひだまりホール」で盛大に開催され、当院ブースでは「健康増進コーナー」として健康チェックやストレスチェック、内脂肪測定、栄養相談、理学療法士による体感コーナーなど、各専門スタッフが多くの来場者の方々とふれあいながら対応いたしました。

また子供コーナーとして、白衣での記念撮影コーナーや大人気のポップコーンコーナー、風船コーナーなど今年も地域の幼稚園児など多くの子供たちに来場いただき、みんなの笑顔が印象的でした。今回も毎度おなじみのパンダも登場し楽しい1日となりました。

（管理課長 大坂 雄二）



連携室のコーナー

皆さん、こんにちは。医療社会事業専門員 板橋彩子です。

今回は、医療保険制度についてお話しします。

医療保険制度が改正になり、受診した際の負担額割合が変わったことはご存知ですか？

- 75歳以上→1割負担 **現役並み所得者は3割負担**
- 70～74歳→2割負担 **現役並み所得者は3割負担**
- 義務教育就学後～69歳→3割負担
- 義務教育就学前→2割負担

70～75歳以上の方でも現役並み所得者は3割負担となります。

ただし、平成26年3月末までにすでに70歳に達している場合には1割負担となります。また、入院になり医療費が高額になりそうな時には、「限度額認定証」をあらかじめ申請しておくことをお勧めします。窓口で提示すると自己負担限度額までの支払いになります。また、限度額認定証を申請していない場合でも、「高額療養費制度」を利用でき、一度全額を支払い、後から払い戻される制度です。後から払い戻されるとは言え、一時的な支払いの負担は大きくなります。負担軽減のためにも、入院になってしまったら自分が加入している医療保険の保険者（市町村、健康保険組合など）へ相談してみてください。

また、入院中や外来通院中に心配なこと気になることがありましたら、「宮城病院 医療相談室」へお立ちよりください。

（医療社会事業専門員 板橋彩子）



決定！！ 宮城病院マスコットキャラクター

「次の100年に向けて地域に飛び立つ宮城病院」をイメージ



宮城病院創立80周年マスコットキャラクター
「みやべりー」



表彰された村田京香さん(左端)

創立80周年記念事業の一つ「マスコットキャラクター選抜総選挙」の結果、南a病棟の看護師村田京香さんの作品が職員投票の結果1位となり、その作品を原案とし誕生したのが「みやべりー」です。

山元町に関係するツバメとイチゴをイメージし、「次の100年に向けて地域に飛び立つ宮城病院」をイメージしています。今後、いろいろな病院PR用のマスコットとして、たくさんの皆様方に愛され可愛がっていただけるようなキャラクターとなりました。今後ともよろしくお願ひいたします。

(管理課長 大坂 雄二)

令和元年度 七夕飾りコンテスト



最優秀賞
栄養管理室

当院恒例の七夕飾りコンテスト！！今年も7月5日～8月8日の日程で開催されました。

各部署の力作が、中央廊下や病棟入り口に飾られると、一気に七夕らしく華々しくなり、廊下等の飾りを足をとめて見入っている人を多く見かけました。

今年は病院創立80周年や東京オリンピックといった旬の話題をテーマにしたものもあり、個性豊かな飾りが多かったように思います。厳正なるコンテストの結果は下記のとおりとなりました。おめでとうございます！

(庶務係長 小原 有里)



金賞 中央病棟1階



銀賞 手術室

第4回 宮城病院 秋まつり

9月25日（水）病院行事「秋まつり」が開催されました。午前中は、中央1・2病棟にてお神輿パレードを行い、その後花笠音頭や相馬盆唄を保護者の方々に踊って頂きお祭りの雰囲気盛り上げて頂きました。午後は、中央4・3・南a・b病棟の順にお神輿が回り、13時半南病棟ホールにお神輿が入り午後の部スタートとなりました。

最初に「山元フラサークル」の皆さんに踊って頂きました。♪川の流れのように♪や♪思い出の渚♪など懐かしい曲に合わせてフラダンスを踊って下さり、会場の皆様も手の動きを真似しながら楽しむ事ができました。

次に「どらごえサークル」の皆様による合唱です。会場に歌詞集も配布され一緒に歌い会場が歌声で一つになりました。くじ引きや患者支援は、ボランティアの協力もあり無事に終えることが出来ました。入院患者様が少しでも「楽しかった」と思って頂けたら幸いです。

（主任保育士 小野寺 陽子）



お神輿を担いで病棟を回りました



山元フラサークルの皆様



どらごえサークルの皆様



病棟で音頭を踊りました♪

ハラスメント研修会



7月25日（木）、院内職場長向けのハラスメント研修会を開催いたしました。

今回講師として、国立病院機構北海道東北グループより武田労務専門職に依頼し講演を行っていただきました。当日は院内各職場長や役職者55名が受講いたしました。

研修ではハラスメントに関する基礎知識や最新の事例等をわかりやすく説明いただき、受講者からは「職場内でのコミュニケーションの重要性」や「セクハラ

やパワハラは身近に起こりえる問題」だと再認識できたなどの感想が多くあり今後の業務活動に生かしていきたいと考えております。

（管理課長 大坂 雄二）



『宮城病院のホームページが新しくなりました』



情報セキュリティの強化とホームページの引越しにより宮城病院のホームページがリニューアルされました。トップ画面には今年採用された職員のリフレッシュな笑顔を並べ、その手には宮城病院の理念「良い医療を安全に、心を込めて」をイメージする大きなハートが掲げられています。

バナーには、先日お披露目された宮城病院のマスコットキャラクター「みやべりー」や山元町との「コラボせんこくん」など、新しい顔ぶれも揃っています。

昨年12月から開設された訪問看護ステーション「かけはし」の直接リンクも設置し、訪問看護を利用される患者様にもわかりやすいホームページとなっています。各種申込書もトップページからアクセスしやすくなりました。

新情報系 Hospnet から提供される CMS（ホームページを簡単に管理できるシステム）により、病院でも容易に情報の更新が可能になり、患者様や医療関係の皆様に宮城病院のリアルタイムな情報をお届けできるようになりました。

ホームページの生命線でもある適時適切な情報発信に今後も担当一同頑張っていきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

（経営企画室長 増田 和美）



宮城病院と山元町とのコラボせんこくん 誕生！



宮城病院の所在地である「山元町高瀬字合戦原100」の「合戦原」は、古くから「合戦原遺跡」という遺跡が存在していることが知られていました。東日本大震災後の集団移転先の一つとして宮城病院北側一帯の敷地を山元町に譲渡し、その際、山元町教育委員会によって本格的な発掘調査が行われ、その中でも特に注目を集めたのが約1400年前にお墓の壁に描かれた「線刻壁画」です。「せんこくん」は、その「線刻壁画」に描かれた人物がモチーフの山元町歴史民族資料館イメージキャラクターで、町内では様々なグッズが販売されていて、その可愛さが人気です。



集団移転に伴う発掘調査遠景。
写真右下が宮城病院敷地。

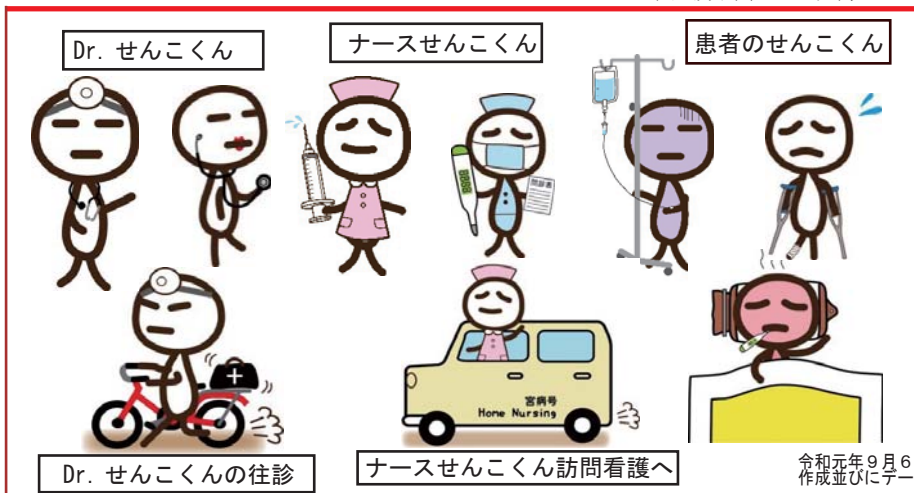
宮城病院では、当院の創立80周年を記念し、さらには、山元町と宮城病院の絆をより深くし、地域医療に益々貢献する意味合いを込めまして、山元町が商標登録している「せんこくん」について、宮城病院とのコラボデザインの作成と使用許可についてお願いしたところ、快諾していただきました。「コラボせんこくん」のデザインは、当院の広報誌やホームページ等における院内外への宣伝・広報を主な目的として使用することとしています。見かけたら声をかけてくださいね。

(事務部長 宗像 広)



38号横穴墓で発見された線刻壁画

(資料提供：山元町教育委員会)



令和元年9月6日「せんこくんと宮城病院のコラボデザインの作成並びにデータの使用許可」済。

外来管理治療棟の外壁をリニューアル

80周年記念事業

当院は、今年創立80周年を迎えますが、80周年を記念して7月に外来治療棟の外壁塗装を行いました。

従前のベージュ系から茶色にリニューアルされました。

そして、シックで落ち着いた雰囲気の宮城病院に生まれ変わりました。

(事務部長 宗像 広)



診療科		曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患		久永 欣哉	中屋 亮彦	宮澤 康一	松本有史/金子仁彦	中屋 亮彦
	再来		永野 功	久永 欣哉	金子 仁彦	久永 欣哉	久永 欣哉
			中屋 亮彦	伊藤 博明	松本 有史	伊藤 博明	
内科			清野 仁	清野 仁	伊藤 博明	清野 仁	清野 仁
			志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
				齊藤 秀行	齊藤 秀行		東北大学病院から
循環器内科	午前		東北大学病院から				
	午後	東北大学病院から (検査日)					
呼吸器内科					蒲生 俊一		
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)		
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩			堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩			堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から			東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)	
形成外科	午後			舘 一史		澤村 武 (隔週 13:30~15:30)	
皮膚科						東北大学病院から	
脳神経外科			永松 謙一	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			(仁村 太郎)				永松 謙一
歯科			中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門 外来	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて随時受け付け					
	頭痛外来	脳神経内科外来にて随時受け付け					
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて随時受け付け					
	ALS外来	脳神経内科外来にて随時受け付け					
	糖尿病外来					東北大学病院から	
	禁煙外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後					山本 蒔子 (第2・4週)
	漢方外来		志澤 聡一郎			志澤 聡一郎	
	入れ歯外来					伊藤 秀美	伊藤 秀美

受診される方へ ----- 交通のご案内 -----

- ①受付時間は8:30~11:00です。
- ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。
ただし、急患の方は随時受付いたします。
お問い合わせ先 0223-37-1131
- ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に2,750円を負担していただくこととなりますので予めご了承願います。

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線の分岐点から南へ約20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線亶理駅下車、タクシーまたはJR代行バス(詳しくはお問い合わせください。)

